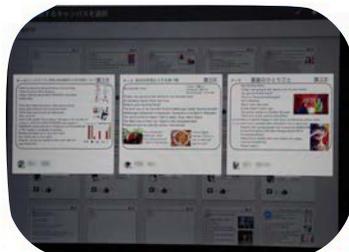


## 聞き手を意識して、わかりやすいスピーチをしよう

伊那中学校の3年生が文化祭の英語弁論発表会でスピーチを行うための原稿づくりを行います。最初に「魅力的なスピーチ」について偉人のスピーチを聴いて考え合いました。次に、「聞き手にとってわかりやすいスピーチとは何か」を意識しながら原稿を書いています。本時ではお互いにスピーチを聞き合ったり、スピーチの様子を動画に撮影して見合ったりすることによって、聞き手にわかりやすい原稿につくり上げていく活動を行います。



①最初に、iPadで「私の宝物」の写真を示しながらショートスピーチを行います。わかりやすさや声の大きさ、アイコンタクトなどの観点からペアで振り返ります。



②前時にはお互いのスピーチ原稿を読んで「いいね」をつけました。これをもとに「どんなところに気をつけて原稿を書いたか」などポイントを共有します。



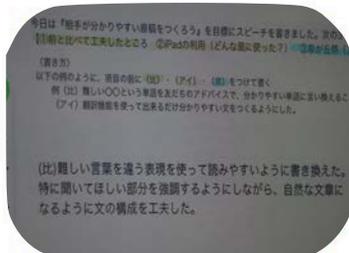
③教科書にある表現を確認したりやWebの翻訳を活用したりしながら原稿のスピーチを書き進めています。



④ペアになってスピーチを読み合います。相手のスピーチを原稿を見ずに聞きます。話している語句や内容がわかりやすかったかについて指摘します。必要に応じて撮影した動画も見合います。



⑤ペアで話し合いを元に自分のスピーチについて再考します。スクールタクトの別のシートに原稿をコピーして、書き加えたり書き直したりしていきます。



⑥前回に書いた自分の原稿と比較しながら、どのようなポイントに注意して原稿を書き直したかを振り返ります。さらに、ペアの原稿や仲間の原稿を読み、コメントを付け合って次時への見通しを持ちます。

伊那中学校 英語 島崎豊明先生の授業をもとに公開研究会への問題提起として、推進センターで編集しました。

### 授業者から

(島崎豊明先生 伊那中学校 3年4組)



「英語弁論発表会」に向けての特設教材

習得してほしい英語での力：「自信を持って英語を話す」を目指します。そのためには、自分が言いたいことを書いて表現する時の文章の正確さや、相手に伝わる言い方であるかを考えることが大切になります。難しい文章を書いてしまうこともあるので相手にとって伝わりやすいのかを吟味する必要があります。この授業では翻訳アプリを使うことを認めていますので、自分の作った文章を友だちと共有することで意味や表現についてアドバイスし合いながらブラッシュアップしていきました。

ICTを活用することで授業が変わってきた：これまでは英語で原稿をつくる場面では個人の考えだけで、他からの情報が少ないまま完結してしまっていました。ところがクラスの仲間と共有することが可能になったことで、様々な表現方法に触れることができたり、それを参考にして自分の文章をより良いものにすることができました。

振り返りでの観点：スピーチ原稿をどのように改善できたかという視点、文化祭でのスピーチ発表への自分の気持ちの変化という視点をschooltaktに書き込んで共有しました。子どもたちは自分たちの成長を感じていました。

### 講師の先生からの課題提起

(谷塚光典先生 信州大学教育学部)



公開授業をもとに谷塚先生からの課題提起です。ビデオを視聴した上で、当日の研究会にご参加ください。また、課題に対して、各学校ごとに、事前に考えを集約していただきたいと思います。

当日は、各学校からの発表をいただきながら、公開研究会を進めていきたいと計画しています。

#### 研究討論のポイント 中学校英語

- ① 個別最適な学びのための ICT活用
  - 「英語としてつけたい力」を伸ばすために
  - 見通しを持った学習・Lesson(Unit)Goal/単元を貫く問い
  - 各種ツールとの併用：英語学習での翻訳機能の利用範囲
- ② 協動的な学びのための ICT活用
  - 友達の前で schoolTakt から開覧・参照可能
  - コメント機能や対面でアドバイスし合うことでブラッシュアップ
  - 相手(聞き手)意識に立った原稿の再考
- ③ 自立的な学びのための ICT活用
  - スピーチ動画を見ながら振り返って、前回からの成長を自覚
  - schoolTakt で振り返り・3観点 ①前と比べて工夫したところ
  - iPadの利用(どんな風に使った?) ③泉ヶ丘祭に向けて
  - 各教科等にに応じた振り返り 英語の場合は「言語使用」

ICT Conference 2024 in INA 2

## 伊那市情報委員会によるICT Conference 2024 公開授業



伊那市の情報委員(中学校部会)の先生方が参加していただきICTカンファレンスの公開授業が行われました。先生方の授業記録をスクールタクトで共有し学び合いました。